

トピックス 郵便局の地域活動をお伝えします！

STaD×印旛地区郵便局

「第7回ペタンク交流大会」

2023年11月19日（日）、四街道市の千代田近隣公園で、関東地方郵便局長協会主催による「第7回ペタンク交流大会」が開催されました。

この大会は、地域の誰もが気軽に運動を行って健康な毎日を過ごし、お喋りしながらできる楽しいスポーツ大会を目指して毎年開催されています。

まず始めに開会式が行われ、主催者を代表し、四街道旭ヶ丘郵便局小林桂子局長が挨拶。「ゲームを通してお喋りを楽しみながら怪我のないようにプレーしていきましょう」と話しました。続いて、主管である「ちょこっとクラブ」松浦由紀子会長が挨拶し、「素晴らしい天気のもと大会ができることを嬉しく思います。力いっぱい正々堂々と戦っていい賞品をとってください！」と呼びかけました。

「ちょこっとクラブ」は、健康増進と地域交流を目的に2015年に発足。会長の松浦さんの地元である千代田地区を拠点として、ペタンク、ヨガ、吹き矢、気功、散歩など、現在9種類の活動を行っています。

大会には、「ちょこっとクラブ」の会員を中心に、四街道市内8名の郵便局長など、24チーム71名が選手として参加。原則1チーム3名で構成。1試合につき7回戦でAからFまでのブロックごとに総当たり戦を行います。チーム紹介やルール説明、始球式、準備体操などが行われたあと、試合開始となりました。

開会式



旭ヶ丘郵便局 小林桂子局長



ちょこっとクラブ 松浦由紀子会長



始球式を行う松浦会長



試合前の準備体操

試合の様子

ペタンクはフランス発祥のスポーツ。フランス語で“両足を揃える”という意味を持ちます。その名称通り、赤いサークルから両足を揃えた状態で、ビュットと呼ばれる的となる黄色のボールを目標に投球していき、ビュットとの距離の近さを競い合います。この日は室内用のビニール製ボールを使用。ビュットにボールが直接当たった時には歓声があがり、どちらのボールがビュットに近いが目視でわかりにくい時には、審判が距離を計測し、参加者は真剣な眼差しで見つめていました。

今年、郵便局は2チーム結成。「自分の得意な距離なので！」と、旭ヶ丘郵便局の小林局長はビュットを目掛けて自信を持って投球。この日のために練習を積んできたと話のように何度も好投を繰り返し、成果が出ていると満足気な様子でした。また、元千代田郵便局長で、現在は大日郵便局勤務の鎌徳文子局長は、「毎年、顔馴染みのお客様と会えるのが嬉しい」と笑みを浮かべます。試合中、「元気？」や「ご無沙汰しています」など、参加者から声を掛けられる場面なども見られ、互いに再会を喜んでいました。



郵便局長も一般参加者のチームに加わり、スコアをつけたり投球したりと大活躍！



参加者が見守るなか、慎重に計測中！



自信を持って投球する小林局長



郵便局長Aチーム



閉会式では、ブロックごとに成績が発表され、チーム名と得点を読みあげられる度、歓喜する声や笑い声とともに拍手に包まれました。最後に、もねの里郵便局の鬼澤武史局長から講評があり、「事故もなく無事に終わられたことを嬉しく思います。自分としては、何とか1勝できたので嬉しかったです。来年に向けて頑張っていきますので、また来年も皆さん参加をお願いします」と、感謝が述べられました。

今年は雨天により一週間延期の開催となりましたが、この日は気持ちのいい青空が広がり、小春日和のなか、終始和やかな雰囲気、皆さん楽しそうに試合を行っていました。



ジャンケンで先攻後攻を決めます！



郵便局長Bチーム



閉会式



もねの里郵便局 鬼澤武史局長



各郵便局長から賞品が授与されました

